

鹿沼ロータリークラブ会報



ロータリーは
機会の扉を開く

(2020-2021 年度 RI テーマ)

例会場 福田屋百貨店鹿沼店3F TEL : 0289-63-0011
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 栃木県鹿沼市栃窪 1167-1
TEL: 0289-63-1780 FAX:0289-62-8090
事務局 090-8961-7922 E-mail: info@kanuma-rc.com
HP: <http://www.kanuma-rc.com/>

第2550地区 第7グループ
創立 1960年1月23日
承認 1960年2月13日
会長 日向野脩弘 幹事 大塚政人

例 会 報 告

No. 20 2020年 12月3日 第2797号



- ◆ 司 会 S A A 日向野博史さん
- ◆ 点 鐘 会 長 日向野脩弘さん
- ◆ 斉 唱(曲目) 君が代・四つのテスト
- ◆ 目的の唱和 齋藤 正さん
- ◆ 乾 杯 鈴木良男さん
- ◆ お客様紹介 米山記念奨学生 倪 棟府さん
鹿沼東ロータリークラブ 原田 篤さん

2021-22 理事・役員決定

クの仕事をしているものですから最近騒がれている海洋プラスチックの話を見せて戴きます。海にプラスチックが非常に多くて最近レジ袋等のプラスチックを減らそうと世界や国で動いております。減らすことは非常に大切ではございますが、そもそもゴミを捨てない・捨てさせない取り組みをロータリーでもできたらと感じたところでした。

◇ 会長会務報告 会 長 日向野脩弘さん

皆様こんにちは！

1. 今日は何の日を紹介させて戴きます。本日は国際障害者デーとのことです。1992年11月の第47回国連総会で制定され、日本では12月9日を「障害者の日」としていたそうです。1975年に「障害者の権利宣言」が国際総会で採択された日でありその後、2004年に国連障害者デーの12月3日から障害者の日の12月9日までの一週間を『障害者週間』に制定したそうです。
2. 本日もう一つ面白い日になっています。12月3日は『妻の日』だそうです。凸版印刷株式会社が1995年に制定したそうです。日付は感謝を示す「サン(3)クス」(Thanks)と読む語呂合わせから1年の最後の月である12月に、1年の労をねぎらい妻に感謝をする日だそうです。
3. 今日はたまたま移動中に前走るトラックからゴミが捨てられるのを見ました。私はプラステッ

以上です。ありがとうございます！



◇ 幹事報告 幹事 大塚政人さん

1. 12月のロータリーレートは\$=105円です。
2. 先週、行われました第6回理事会の議事録を後ろの掲示板に提示してありますのでご確認ください。
3. ロータリーの友12号に2名の方の短歌・俳句が掲載されました。

日向野修弘さん

お金よりコロナ対策キャッシュレス

大貫定之さん

手を添えてお釣りをくれたあのひとよ

今は悲しき電子マネーか



◇ クラブ年次総会 日向野脩弘さん

2021-22年度役員・理事

会長 倉松 俊弘さん
 副会長(会長エレクト) 櫻井 武彦さん
 クラブ奉仕委員長(会長ノミニ一)

幹事 五月女 豊さん
 本会計 加藤 昌彦さん
 職業奉仕委員長 狐塚 泰久さん
 社会奉仕委員長 川邊 清さん
 国際奉仕委員長 大貫 定之さん
 青少年奉仕委員長 岩本 泰史さん
 直前会長 人見 哲史さん
 直前幹事 日向野修弘さん
 副幹事 大塚 政人さん
 日向野博史さん

◇ 米山記念奨学金の授与

米山記念奨学生 倪 棟府(げいとうふ)さんに12月の米山記念奨学金の授与



◇ 委員会報告

◆ 親睦活動委員会 香川道雄さん・若松伴陸さん

1. 本人誕生
2. 配偶者誕生



3. 結婚記念

◆ 米山記念奨学会委員会 内野義忠さん

米山功労者感謝状授与

- | | |
|-----------|---------|
| 第1回 米山功労者 | 橋本 勝浩さん |
| 第2回 米山功労者 | 齋藤 正さん |
| 第2回 米山功労者 | 星野 詠一さん |
| 第7回 米山功労者 | 山崎 博通さん |



◇ 卓話

鹿沼東ロータリークラブ 原田 篤さん

株式会社関東整備の代表で鹿沼東ロータリークラブ直前会長でもある原田さんに卓話をして戴きました。原田さんは、まじめな明るい鹿沼の政治を目指し「鹿沼市民会議所」を立ち上げられたそうです。活動の一環として異例のヒット作品「なぜ君は総理になれないのか」を鹿沼で上映会を行うそうです。映画の紹介と政治についてお話を戴きました。パンフレットを添付致しますのでご覧ください。卓話のお礼をお渡しさせて戴いたのですが、スマイルBOXに入れて戴きました。有難うございました。



倉松俊弘さん：⑤次年度役員・理事の皆様よろしくお願ひします。

齋藤 正さん：②4日で57才になります。長生き出来る様にガンバります！

五月女豊さん：①

櫻井武彦さん：⑤原田さん卓話ありがとうございました。

次年度、副会長に任命して頂きました。今後ともよろしくおねがいたします。

篠原真人さん：⑤原田さん素晴らしい卓話ありがとうございました。先日初めてゴルフコースデビューしました。どうやらはまりそうです。笑…

鈴木良男さん：⑤鹿沼東 RC パスト会長原田さん・米山奨学生ゲンさんのご来訪を歓迎して

⑤原田あつしさん卓話いただきましてありがとうございました。

⑤日向野・大塚年度の順調な運航をお祝ひして

早乙女和弘さん：⑤なかなか出席できなくてすいません

人見哲史さん：②③

若林 実さん：⑤原田さん ようこそ鹿沼Rへ 言いたりないぐらいですが 失礼があったでしょうか

※①結婚記念・②本人誕生・③夫人誕生・④出席記念・⑤その他



◆ 出席率報告

会員数	出席数	前日/々	免除	欠席	出席率
62	0	0	0	0	100.0%

一般原則としてロータリーのプログラム、会合行事の全参加者の健康と安全を最優先とし、本年12月までの例会の出席義務は免除となります。

◆ 点 鐘 会 長 日向野脩弘さん

● 次回 12月第2例会 12月10日(木)

場 所：福田屋百貨店鹿沼店 3階

時 間：12時30分～

(発行責任者：荻村武誠・会報委員長：浅野知則)

◆ スマイルBOX

鹿沼東 RC

原田篤さん：⑤12月10・11・12日の上映会よろしくおねがいたします。

日向野脩弘さん：⑤本日は鹿沼東 RC 原田篤様卓話ありがとうございました。

⑤12月号のロータリーの友に妻の考えた川柳が掲載されました。すばらしい妻に感謝です。

大塚政人さん：⑤原田さん本日は卓話ありがとうございました。

市田 登さん：⑤原田篤さんすばらしい卓話ありがとうございました。

宇賀神康明さん：①

大貫定之さん：②

⑤原田先輩 本日は卓話ありがとうございました。私は好きですよ(笑)

⑤俳句か短歌か川柳か区別もつかず投稿したのに採用されるとは驚きです!このような機会を与えて頂いた岩本委員長ありがとうございました。

金子昭彦さん：③

金子和夫さん：⑤体調不良にて欠席しました。今後徐々に出席します。宜しくお願ひ致します。



なれ

いまの日本が

総理

誠実さを笑う

なぜ

ない

浮かび上がる

大臣

か泣くか

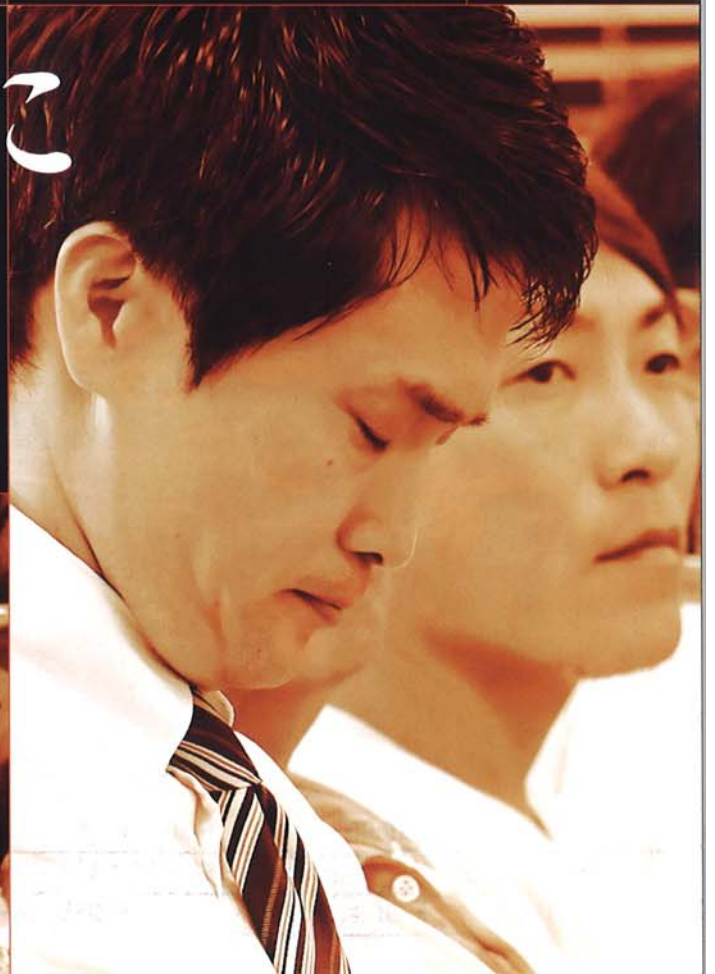
君は

ドキュメンタリー映画

監督：大島新

のか

に



「ただ社会を良くしたい」立志、希望、挫折：愚直な政治家の17年

「こんな政治家がいたのか…」

衆議院議員・小川淳也(当選5期、49歳)。

2019年の国会で統計不正を質し、SNSで「統計王子」「こんな政治家がいたのか」と注目を集めた。

彼と初めて出会ったのは、2003年10月10日、衆議院解散の日。当時32歳、民主党から初出馬する小川にカメラを向けた。「国民のためという思いなら誰にも負けない自信がある」と真っすぐに語る無私な姿勢に惹かれ、事あるごとに撮影をするようになる。地盤・看板・カバンなしで始めた選挙戦。2005年に初当選し、2009年に政権交代を果たすと「日本の政治は変わります。自分たちが変えます」と小川は目を輝かせた。現在『news23』のキャスターを務める星浩や、安倍政権寄りと評される政治ジャーナリスト・田崎史郎ら、リベラル・保守双方の論客から“見どころのある若手政治家”と期待されていた。しかし…



小川淳也

1971年香川県高松市生まれ。高松高校・東京大学を経て、1994年自治省(現総務省)に入省。2005年初当選。民主党→民進党→希望の党を経て無所属。2020年3月現在、立憲民主党・無所属フォーラムの会派に属し、「桜を見る会」を追及する質疑で注目を集めている。著書に『日本改革原案』など。



君の未来は、私たちの未来かもしれない

いくら気高い政治思想があっても党利党益に貢献しないと出世できず、選挙区当選でなければ発言権も弱い。小川の地元である香川1区に対抗馬は、自民党の平井卓也。平井は地元有カメディアである四国新聞や西日本放送のオーナー一族で、強固な地盤を持つ。そのため、小川は惜敗しては敗者復活の比例当選を繰り返してきた。権力への欲望が足りず、家族も「政治家には向いていないのでは」と本音を漏らす。2012年から安倍政権が始まると、我慢の時期が続く。そして、2017年の総選挙では、希望の党への合流を決断した前原誠司の最側近として翻弄されていく。小池百合子代表への不信任感から無所属での出馬を最後まで検討するが、前原や地元の盟友・玉木雄一郎への仁義というジレンマの中、苦悩は益々深まっていく。背水の陣の選挙戦に小川はどのように挑んでいったのか――。

17年間、小川を見続けた監督・大島新の目に映ったのは日本政治の希望か絶望か。小川を通して日本の未来を問いかけていく。



監督：大島新

1969年神奈川県藤沢市生まれ。フジテレビ『ザ・ノンフィクション』毎日放送『情熱大陸』など数多くのテレビドキュメンタリーを手掛ける。映画監督作品に『シアトリカル 唐十郎と劇団唐組の記録』(2007)、『園子温という生きもの』(2016)。プロデュース作品に『ぼけますから、よろしくお願ひします。』(2018)など。

プロデューサー：前田亜紀 ● 撮影：高橋秀典、前田亜紀 ● 編集：宮島亜紀
音楽：石崎野乃 ● ライン編集：池田 聡 ● 整音：富永 聖一
制作担当：船木 光、三好真裕美 ● 宣伝美術：保田卓也
宣伝：きろくびと ● 配給協力：ポレポレ東中野 ● 製作・配給：ネツゲン
2020年/日本/カラー/119分/DCP ● 公式HP: www.nazekimi.com ● ©ネツゲン

12月	10:00	15:00	19:00	会場(鹿沼市)	料金/各回	主催/協力
10日(木)・11日(金)	150名	150名		文化センター小ホール	1,000円	かぬま市民会議所
12日(土)	50名	50名		情報センター5Fホール	学生無料	(株)関東整備/協賛

